

(発達) 障がいと多様性： インクルーシブ教育を考える

大学コンソーシアムあきたでは、県内で高等教育に携わる教職員の知識や意識の向上を目標に「高等教育セミナー」を実施してきており、本年度は4回目の開催となります。

現在教育現場では、発達障害を含む障害のある学生、その他支援の必要な学生、文化の異なる世界各国からの留学生、全国各地からの学生など多様な学生が集い、共に学習しています。

平成28年4月1日から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」が適用されてから早2年半が過ぎました。私たち教職員は、多様な教育、インクルーシブ教育、そして差別のない教育環境の提供に、どう取り組んできたのか、また今後どういう点に配慮し改善すべきなのか、この2年半を振り返るとともに様々な問題点にも向き合いながら、今後のあるべき教育について考えましょう。本年度の研修が教職員の新たな視点開拓の一助となり、その深い考察と研修成果が今後の教育現場に反映されることを期待します。

●日時

平成30年11月27日（火）
13:30～17:30 ※開場 13:00～

●会場

カレッジプラザ
(秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階)

●対象

高等教育機関教職員
秋田県内高等学校関係者

●参加費

無料

●申込受付

平成30年11月20日（火）17:00まで

●プログラム

基調講演と質疑応答
(13:35～15:20)

演題

【(発達) 障がいのリアルx 大学生のリアル～教育と多様性：インクルーシブ教育への変革】

講師：毎日新聞社論説委員

野澤 和弘 氏

グループディスカッション
(15:30～16:45)

グループ発表・講評・終了
(16:45～17:30)

【申し込み・問い合わせ先】

大学コンソーシアムあきた
平成30年度高等教育セミナー担当窓口
国際教養大学 企画課研究・地域連携支援チーム

TEL : 018-886-5905/5904
FAX : 018-886-5910
E-mail : cos@aiu.ac.jp

講師紹介

野澤 和弘 (のざわかずひろ) 氏 (毎日新聞社論説委員)

- 1983年毎日新聞入社、津支局、中部報道部（名古屋）を経て92年に東京社会部へ。いじめ、引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長などを経て2009年から論説委員（社会保障担当）。
- 元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員。
- 主な著書に「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」（ぶどう社）、「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）、「廃墟の中の希望」「なぜ人は虐待するのか」（Sプランニング）、「わかりやすさの本質」（NHK出版）



会場地図

カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階)



自家用車でお越しの際は、カレッジプラザの駐車場をご利用いただけます。
 ※車高1.5m以上の車は利用できません。
 ※満車で入庫できない場合もございますので、その際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

申込方法

平成30年11月20日 (火) 17:00までに、
 URL/QRコードまたはFAXにてお申し込みください。

- <https://jp.surveymonkey.com/r/CONSO1127>
- FAX : 018-886-5910



大学コンソーシアムあきた高等教育セミナー参加申込書		
氏名		
所属機関・役職		
連絡先	Tel: E-mail:	
グループディスカッションへの参加 (希望のところに○をつけてください)	グループディスカッション①参加希望	「発達障害と思われる学生への対応」と「教員ができる配慮」
	グループディスカッション②参加希望	「発達障害と思われる学生への対応」と「職員ができる配慮」
	グループディスカッションに参加しない	
懇親会への参加 ※ (希望を○で囲んでください)	参加する	参加しない

※懇親会について： 懇親会費用は5,000円～5,500円/人予定。講師の野澤和弘氏も参加される予定です。